

第3回テーマ：『新たな視点からの農業構造分析』

家族経営における女性の農業参加



農林水産政策研究所 農業・農村領域

佐藤 真弓・橋詰 登



(1) 研究の背景と分析課題

- **農業分野における男女共同参画**を図っていくためには、①地域の政策・方針決定への女性の参加や②女性の農業労働への関与の強化・多様化を進めるとともに、③農業経営における意思決定への参画（経営参画）を促進することが重要
- このうち、③の女性の経営参画については、これまで事例研究によって参画要因の分析は行われてきたが、全国統計によって女性の労働力としての農業参加と経営の意思決定への参画を一体的に分析した研究成果はなかった
- 農業センサスでは、**2015年の調査**から全世帯員に対して「経営主とともに農業経営の方針決定に関わっている」かどうかを調査するようになっており、今回センサスで初めて女性の経営参画に関する動向分析が可能に
- 本分析では、既存の公表データに加え、2020年と2015年のセンサス個票データを用い、家族経営における女性の農業参加の現状と動向を分析

(1) 研究の背景と分析課題 (つづき)

□ 分析の視点は、以下の3点

- ① 家族経営での**女性農業労働力**が、近年どのように変化しているのか？
- ② 家族経営における**女性の経営参画**は、この5年間に進展したのか？
- ③ **女性の経営参画動向**が、経営体の展開にどのような違いをもたらしているのか？

◆ 本分析での**農業労働力**は、個人経営体を対象とした農業従事者^(注1)，農業専従者^(注2)，基幹的農業従事者^(注3)の各指標から男女別に把握（2010年は販売農家）

(注1) 農業従事者とは、自営農業に1日以上従事した15歳以上の世帯員

(注2) 農業専従者とは、農業従事者のうち、自営農業に150日以上従事した者

(注3) 基幹的農業従事者とは、ふだんの状況が仕事を主とする世帯員のうち、主に自営農業に従事した者

◆ 本分析での**経営参画者**とは、経営主と経営方針決定への参画者^(注4)を合わせたもの

(注4) 経営方針決定への参画者とは、過去1年間で生産品目や飼養する畜種の選定・規模の決定、出荷先の決定、資金調達、機械・施設などへの投資、農地借入・農作業受託の決定、雇用の決定・管理のいずれかに参画した経営主を除く世帯員

(2) 本報告の構成

2. 家族経営における女性農業労働力の現状と動向

⇒ 個人経営体における女性世帯員・女性農業労働力の現状と動向を分析

3. 女性農業者の経営参画の現状と動向

⇒ 女性農業者の経営参画動向を個人レベルと経営体レベルで分析

4. 女性の経営参画動向別に見た経営体の特徴

⇒ 女性農業者の経営参画動向により経営体を類型化し、各類型の特徴を比較分析

5. まとめ

⇒ 分析結果の総括と残された分析課題を提示

2. 家族経営における女性農業労働力の現状と動向

(1) 女性世帯員及び女性農業労働力の概要

- **女性の世帯員**（個人経営体）は、2015年の246万人から2020年は173万人（30%減）に、**農業従事者**及び**農業専従者**は、それぞれ154万人から**110万人（29%減）**、50万人から**39万人（22%減）**へと大幅に減少し、**女性割合が低下**（農業専従者は**4割**を切る）
- 今回、**1戸当たりの女性世帯員数（1.66人）**が男性世帯員数（1.70人）を**逆転**

表1 女性の世帯員数及び農業労働力の動向（全国）

		2010年 (販売農家)	2015年 (販売農家) (個人経営体)		2020年 (個人経営体)	2010-15年 増減率 (%) (販売農家)	2015-20年 増減率 (%) (個人経営体)
実 数	女性世帯員数 (万人)	329.4	244.9	246.2	172.5	△ 25.7	△ 29.9
	女性農業従事者数 (万人)	210.2	152.9	153.7	109.5	△ 27.3	△ 28.7
	女性農業専従者数 (万人)	63.0	50.5	50.3	39.4	△ 19.9	△ 21.7
	1戸当たり世帯員数 (人)	3.99	3.67	3.66	3.36	△ 7.9	△ 8.1
	うち、男性 (人)	1.97	1.83	1.82	1.70	△ 7.0	△ 6.7
	うち、女性 (人)	2.02	1.84	1.84	1.66	△ 8.8	△ 9.5
	(参考) 経営体数 (万戸)	163.1	133.0	134.0	103.7	△ 18.5	△ 22.6
女性割合	世帯員 (%)	50.7	50.2	50.2	49.4	X	
	農業従事者 (%)	46.3	45.0	45.0	43.9		
	農業専従者 (%)	41.9	40.5	40.5	38.4		

資料：農林業センサス（2010年，2015年，2020年）。

(2) 女性農業専従者の動向

- 2015年からの5年間に、**女性農業専従者**（個人経営体）は全ての年齢階層で減少（男性は40～49歳及び70～74歳層で増加）
- **女性農業専従者の減少率**は75歳以上層を除く各年齢層で男性を上回っており、男女の差は特に40～49歳（31ポイント）及び70～74歳層（28ポイント）で大きい

表2 年齢区分別の農業専従者数の動向（全国：個人経営体）

	農業専従者数（千人）									農業専従者数増減率（%）		
	計			男 性			女 性			計	男 性	女 性
	2015年	2020年	構成比	2015年	2020年	構成比	2015年	2020年	構成比	15-20年	15-20年	15-20年
計	1,242	1,025	100.0%	738	632	100.0%	503	394	100.0%	△ 17.4	△ 14.5	△ 21.7
29歳 以下	19	16	1.5%	15	12	2.0%	4	3	0.9%	△ 16.2	△ 14.9	△ 20.7
30～39歳	51	48	4.7%	36	36	5.6%	15	13	3.3%	△ 4.2	△ 0.5	△ 13.2
40～49歳	79	78	7.6%	47	52	8.2%	33	26	6.7%	△ 0.9	11.9	△ 19.2
50～59歳	171	122	11.9%	88	72	11.4%	82	50	12.7%	△ 28.5	△ 18.5	△ 39.1
60～64歳	182	121	11.8%	100	69	11.0%	82	52	13.2%	△ 33.3	△ 30.5	△ 36.7
65～69歳	209	191	18.6%	123	114	18.1%	86	76	19.4%	△ 8.6	△ 6.9	△ 11.1
70～74歳	181	185	18.1%	100	115	18.2%	81	70	17.8%	2.2	14.6	△ 13.2
75歳 以上	351	264	25.7%	230	161	25.5%	120	103	26.0%	△ 24.8	△ 30.1	△ 14.7

資料：農林業センサス（2015年、2020年）の公表データ及び個票の組替集計により作成。

注. 2020年の農業専従者数欄の右側の数値は、年齢区分別の構成比である。

(2) 女性農業専従者の動向 (つづき)

- 農業経営組織別の女性農業専従者数の減少率は、準単一複合経営(35%減)、畜産単一(24%減)、稲作単一(24%減)で高く、果樹類単一(11%減)、野菜单一(13%減)で低い
- 農業専従者の女性割合が比較的高い経営部門(野菜单一、果樹類単一等)において、女性農業専従者数の減少率が低い傾向

表3 農業経営組織別の女性農業専従者数の動向 (全国)

	女性農業専従者数 (人)			構 成 比 (%)			女 性 割 合 (%)		
	2015年 (販売農家)	2020年 (個人経営体)	増 減 率 (%)	2015年 (販売農家)	2020年 (個人経営体)	増 減 ポイント	2015年 (販売農家)	2020年 (個人経営体)	増 減 ポイント
計	504,580	393,865	△ 21.9	100.0	100.0		40.5	38.4	△ 2.1
単 一 経 営	333,268	274,292	△ 17.7	68.4	69.6	1.2	39.9	37.7	△ 2.1
稲 作 単 一	99,212	75,277	△ 24.1	19.7	19.1	△ 0.5	34.0	30.2	△ 3.8
野 菜 単 一	92,443	80,497	△ 12.9	18.3	20.4	2.1	44.4	43.1	△ 1.4
果 樹 類 単 一	70,320	62,365	△ 11.3	13.9	15.8	1.9	43.4	42.0	△ 1.4
花き・花木単一	18,083	14,215	△ 21.4	3.6	3.6	0.0	43.2	42.6	△ 0.6
畜 産 単 一	31,301	23,711	△ 24.2	6.2	6.0	△ 0.2	40.2	38.6	△ 1.6
そ の 他 単 一	21,909	18,227	△ 16.8	6.7	4.6	△ 2.1	39.9	38.3	△ 1.6
準単一複合経営	115,567	75,571	△ 34.6	22.9	19.2	△ 3.7	41.9	40.3	△ 1.6
複 合 経 営	43,721	34,530	△ 21.0	8.7	8.8	0.1	42.5	41.1	△ 1.5

資料：農林業センサス（2015年、2020年）の公表データ及び個票の組替集計により作成。

注(1) 増減率及び増減ポイントは、2015年の販売農家と2020年の個人経営体の数値を比較したものである。

(2) 女性農業専従者数が10万人に満たない「麦類作」「雑穀・いも類・豆類」「工芸農作物」「養蚕」の単一経営組織は、すべて「その他単一」とした。

(3) 女性農業従事者の年齢別コーホート増減人数

- 今回、全員が後期高齢者となった**昭和10年代生まれ**（75～84歳）の離農が本格化
- 64歳以下層では、150日以上従事している女性農業者（＝農業専従者）がいずれも増加
⇒ ただし、これらの増加人数は合計しても1万人程度で、75歳以上層での減少人数の僅か4%程度を占めるに過ぎない

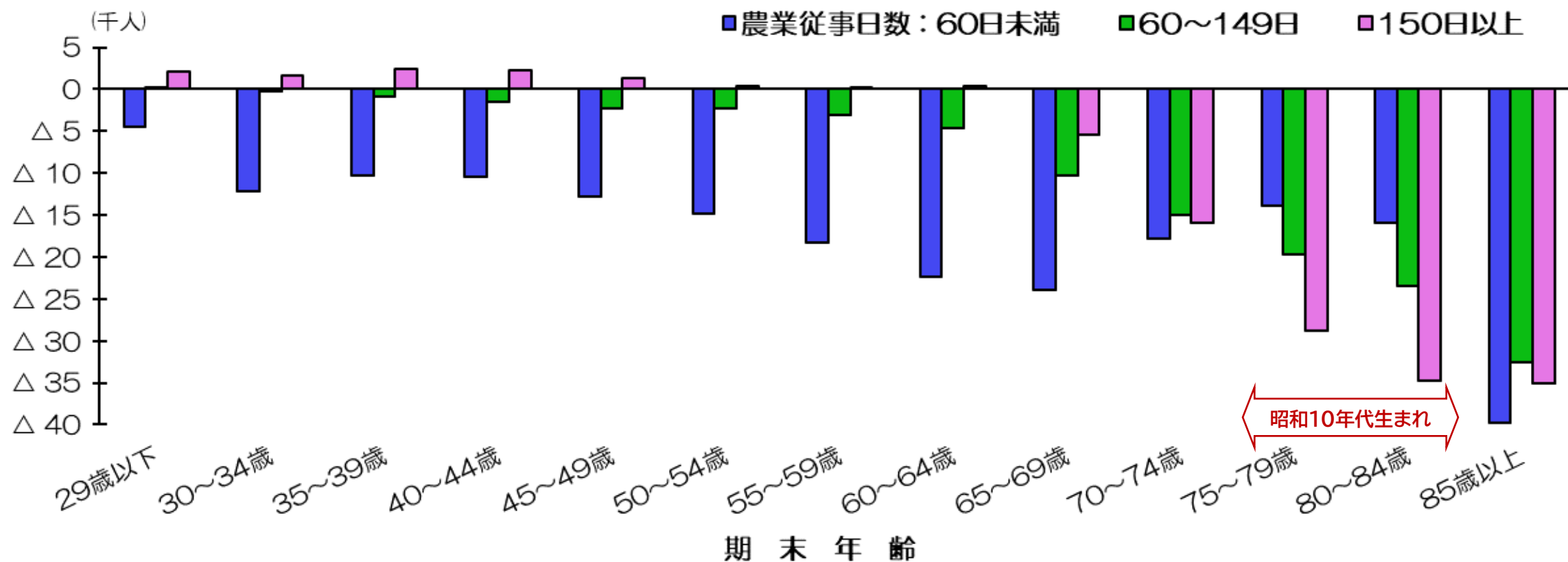


図2 女性農業従事者の従事日数別・年齢別コーホート増減人数（全国：2015-20年）

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。

3. 女性農業者の経営参画の現状と動向

(1) 個人レベルでの分析 (女性の経営主, 方針決定参画者)

- **女性の経営主**は、2015年の9.1万人から2020年は**6.1万人**に減少 (**33%減**) ,年齢別には**70歳代**が減少人数全体の**4割**近くを占める (**1.2万人減**)
- **方針決定参画者**は、61.5万人から**35.5万人**に大幅な減少 (**42%減**) , 全ての年齢階層で減少し、特に、**50歳代及び29歳以下層**で顕著

表4 年齢別の女性の経営参画者の動向 (全国：個人経営体)

	女性経営主 (人)				女性経営方針決定参画者 (人)			
	2015年	2020年	増減人数	増減率(%)	2015年	2020年	増減人数	増減率(%)
計	91,402	61,283	△ 30,119	△ 33.0	614,671	355,270	△ 259,401	△ 42.2
29歳以下	141	148	7	5.0	7,669	3,111	△ 4,558	△ 59.4
30～34歳	212	198	△ 14	△ 6.6	7,496	4,101	△ 3,395	△ 45.3
35～39歳	460	399	△ 61	△ 13.3	11,472	7,062	△ 4,410	△ 38.4
40～44歳	953	709	△ 244	△ 25.6	17,955	9,986	△ 7,969	△ 44.4
45～49歳	1,957	1,337	△ 620	△ 31.7	27,644	14,030	△ 13,614	△ 49.2
50～54歳	3,871	2,216	△ 1,655	△ 42.8	51,283	20,400	△ 30,883	△ 60.2
55～59歳	7,068	3,909	△ 3,159	△ 44.7	81,799	35,774	△ 46,025	△ 56.3
60～64歳	10,789	6,084	△ 4,705	△ 43.6	110,108	55,707	△ 54,401	△ 49.4
65～69歳	13,176	8,955	△ 4,221	△ 32.0	97,854	70,035	△ 27,819	△ 28.4
70～74歳	14,873	10,181	△ 4,692	△ 31.5	79,641	56,709	△ 22,932	△ 28.8
75～79歳	17,018	9,988	△ 7,030	△ 41.3	65,559	37,966	△ 27,593	△ 42.1
80～84歳	13,124	8,996	△ 4,128	△ 31.5	38,778	24,931	△ 13,847	△ 35.7
85歳以上	7,760	8,163	403	5.2	17,413	15,458	△ 1,955	△ 11.2

資料：農林業センサス個票 (2015年, 2020年) の組替集計により作成。

(1) 個人レベルでの分析 (つづき)

- **女性の経営参画者の減少率**は、80歳以上を除いた各年齢層で女性世帯員や女性農業労働力の減少率を上回り、特に29歳以下層と50歳代で**60%近い**大幅な減少
- **女性の基幹的農業従事者**に着目すると、55歳から84歳層での減少率は農業従事者よりも高いが、54歳以下の各年齢層では農業従事者のみならず女性世帯員よりも低い水準

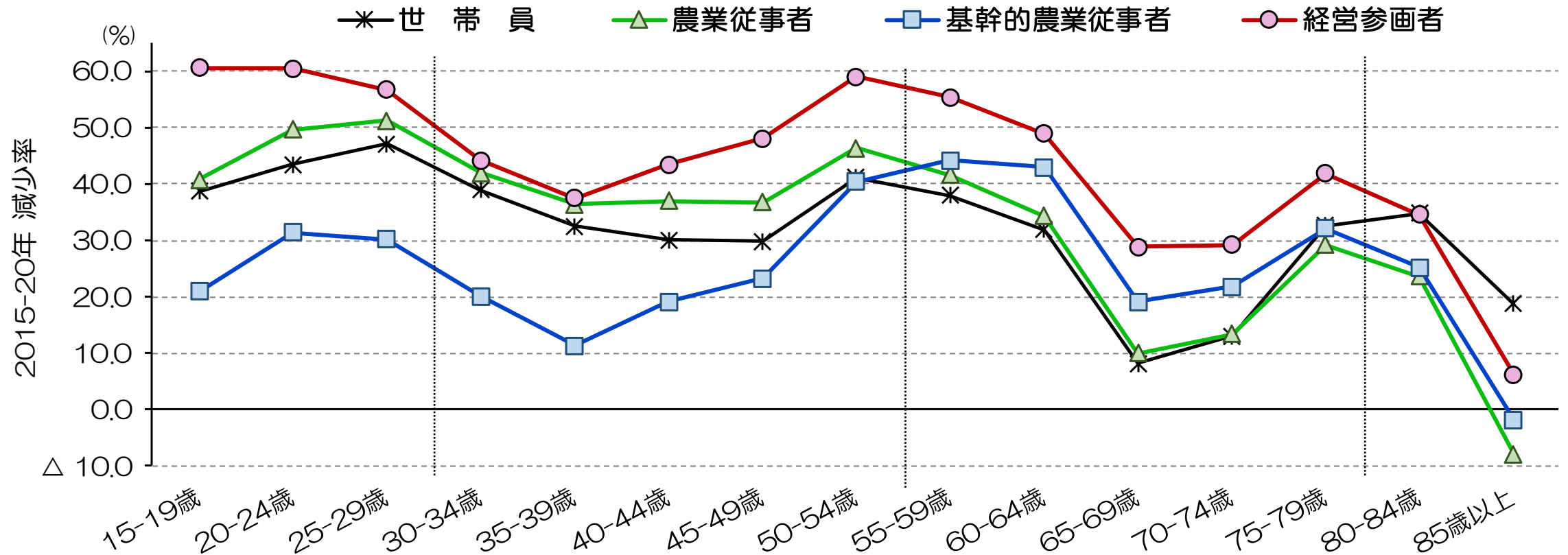


図3 年齢別の女性世帯員、農業労働力、経営参画者の減少率 (全国: 2015-20年)

資料: 農林業センサス個票 (2015年, 2020年) の組替集計により作成。

(1) 個人レベルでの分析 (つづき)

- 農業従事日数別に見ると、**経営主**は従事日数区分が100～149日での減少人数が**6千人** (43%減) と最も多く、250日以上と29日以下層での減少は比較的少ない
 - 方針決定参画者**は1～29日区分の減少人数が**4.8万人** (48%減) と最も多く、次いで250日以上で**4.2万人減** (28%減)
- ⇒ **経営主**は従事日数区分が中間層、**方針決定参画者**は下層と上層での減少が多い

表5 農業従事日数別の女性経営参画者の動向 (全国：個人経営体)

(単位：人，%)

		計	農業従事 なし	1～29日	30～59日	60～99日	100～ 149日	150～ 199日	200～ 249日	250日 以上
女性 経営主	2015年	91,402	2,829	10,984	12,298	12,090	12,920	11,702	11,086	17,493
	2020年	61,283	2,145	8,041	7,749	6,848	7,322	7,058	6,906	15,214
	増減人数	△ 30,119	△ 684	△ 2,943	△ 4,549	△ 5,242	△ 5,598	△ 4,644	△ 4,180	△ 2,279
	増減率	△ 33.0	△ 24.2	△ 26.8	△ 37.0	△ 43.4	△ 43.3	△ 39.7	△ 37.7	△ 13.0
女性 方針決定 参画者	2015年	614,671	23,403	100,162	74,040	69,009	63,418	61,657	74,307	148,675
	2020年	355,270	9,331	52,198	40,753	35,155	34,206	35,082	41,897	106,648
	増減人数	△ 259,401	△ 14,072	△ 47,964	△ 33,287	△ 33,854	△ 29,212	△ 26,575	△ 32,410	△ 42,027
	増減率	△ 42.2	△ 60.1	△ 47.9	△ 45.0	△ 49.1	△ 46.1	△ 43.1	△ 43.6	△ 28.3

資料：農業センサス(2015年，2020年)の公表データ及び個票の組替集計により作成。

(1) 個人レベルでの分析 (つづき)

- 期末年齢が54歳以下の各年齢層では従事日数の少ない区分での減少寄与率が大きく、それより上の世代では従事日数の多い区分での寄与率が大きい
 ⇒ 加齢に伴う農業従事度の低下が方針決定参画者割合の低下につながっている
- 39歳以下の年齢層 (24歳以下を除く) では100日以上の各区分で減少寄与率がマイナス
 ⇒ 若い世代の女性農業専従者層では方針決定参画者の減少はほとんど生じていない

表6 女性の方針決定参画者の年齢別コーホート減少人数と減少寄与率 (全国：2015-20年)

		計	期 末 (2020年) 年 齢													
			20~ 24歳	25~ 29歳	30~ 34歳	35~ 39歳	40~ 44歳	45~ 49歳	50~ 54歳	55~ 59歳	60~ 64歳	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85歳 以上
コーホート 減少人数 (千人)		259.4	0.1	0.3	0.4	0.4	1.5	3.9	7.2	15.5	26.1	40.1	41.1	41.7	40.6	40.7
		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
従事日数別の 減少寄与率	従事していない	5%	157%	121%	130%	114%	37%	20%	14%	9%	6%	3%	2%	2%	3%	9%
	1 ~ 29日	18%	82%	142%	202%	183%	88%	47%	43%	41%	36%	23%	13%	7%	6%	10%
	30 ~ 59日	13%	Δ7%	Δ11%	1%	25%	14%	12%	11%	12%	14%	15%	13%	11%	12%	14%
	60 ~ 99日	13%	Δ5%	Δ1%	7%	18%	17%	11%	9%	10%	12%	14%	14%	13%	13%	14%
	100~149日	11%	Δ8%	Δ15%	Δ15%	Δ2%	10%	8%	3%	4%	5%	9%	13%	15%	15%	15%
	150~199日	10%	Δ20%	Δ24%	Δ23%	Δ13%	1%	4%	4%	3%	3%	7%	11%	15%	15%	13%
	200~249日	12%	Δ28%	Δ34%	Δ50%	Δ37%	Δ8%	5%	9%	7%	6%	11%	15%	18%	17%	12%
	250日以上	16%	Δ71%	Δ77%	Δ152%	Δ188%	Δ59%	Δ7%	8%	15%	18%	19%	20%	20%	19%	14%

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。

注。「15~19歳」層は省略した（ただし，計には含む）。

(2) 経営体レベルでの分析（女性が経営に参画している経営体）

- 女性の経営参画者がいる農業経営体のうち、**女性の経営主がいる経営体**は、世帯員が女性のための経営体に最も多い（2.5万経営体，41%）
- 女性の方針決定参画者がいる経営体は、男女の専従者がいる経営体に最も多く存在（15.6万経営体，49%），次いで農業専従者がいない経営体（9.7万経営体，31%）

表7 労働力保有状態別の女性経営参画者がいる経営体数（全国：2020年）

		計	男女の世帯員がいる						世帯員は男性のみ	世帯員は女性のみ
			男女の農業従事者がいる				農業従事者は男性のみ	農業従事者は女性のみ		
			男女の専従者がいる	専従者は男性のみ	専従者は女性のみ	専従者がいない				
実数 (経営体)	個人経営体計	1,037,342	302,866	197,611	36,267	394,526	621	265	80,224	24,962
	女性の経営主がいる	61,283	7,691	2,028	10,588	15,749	-	265	-	24,962
	女性の方針決定参画者がいる	316,446	156,152	46,514	15,554	96,889	-	43	-	1,294
構成比 (%)	個人経営体計	100.0%	29.2%	19.0%	3.5%	38.0%	0.1%	0.0%	7.7%	2.4%
	女性の経営主がいる	100.0%	12.5%	3.3%	17.3%	25.7%	-	0.4%	-	40.7%
	女性の方針決定参画者がいる	100.0%	49.3%	14.7%	4.9%	30.6%	-	0.0%	-	0.4%

資料：農林業センサス個票（2020年）の組替集計により作成。

(2) 経営体レベルでの分析 (つづき)

- 女性の方針決定参画者がいる経営体割合は、酪農（49%）、施設野菜（43%）、花き・花木（41%）等で高く、これら経営は65歳未満の女性農業専従者がいる割合も高い
- 65歳未満の女性農業専従者がいる経営体割合が5%と低い水稻・陸稻では、方針決定参画者がいる割合も27%と最も低い

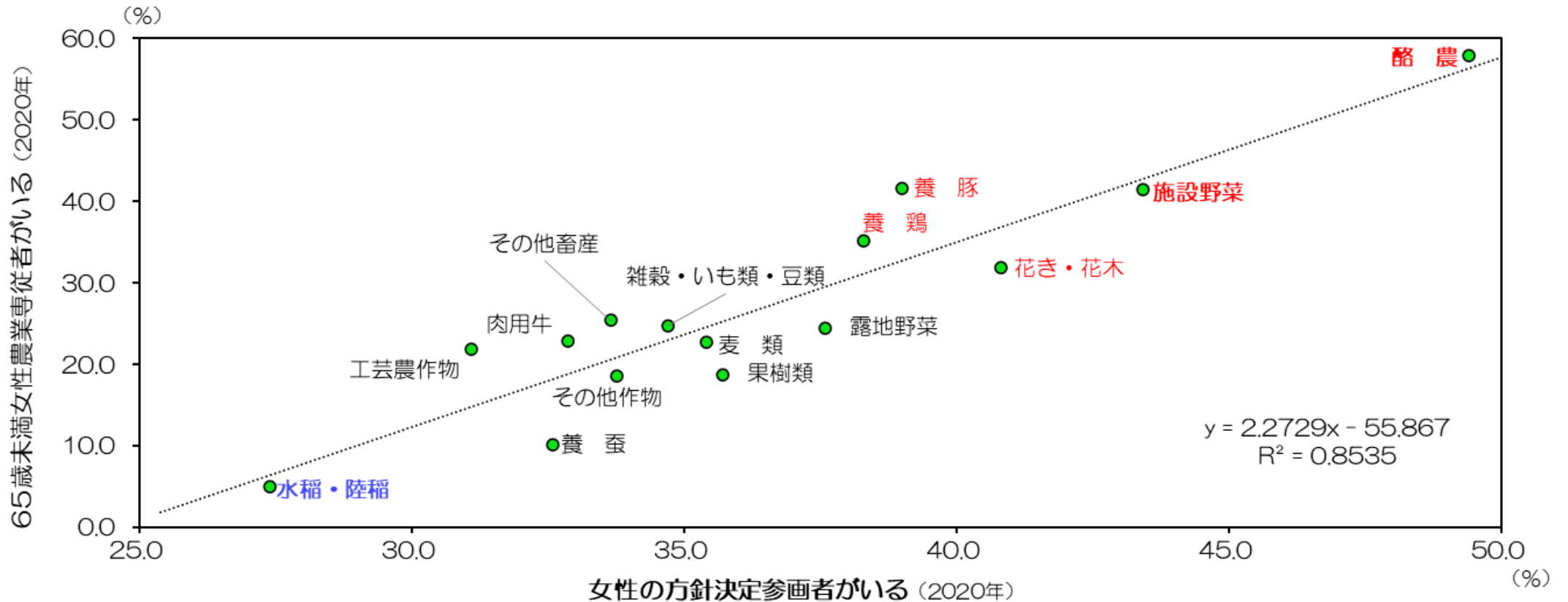


図4 65歳未満女性農業専従者割合と女性の方針決定参画者割合との関係 (全国：販売額1位部門別)

(2) 経営体レベルでの分析 (つづき)

- 個人経営体において、**女性の経営主がいる経営体**は2015年の9.1万経営体から6.1万経営体 (33%減)へ、**女性の方針決定参画者がいる経営体**は、54.8万経営体から31.6万経営体 (42%減)へそれぞれ大幅に減少
- 65歳未満の女性農業専従者がいる経営体に限定すると、**女性の経営主がいる経営体の減少率** (32%減)は個人経営体全体の減少率 (33%減)よりも僅かに低いが、**女性の方針決定参画者がいる経営体の減少率** (45%減)はやや高い

表8 女性の経営参画者がいる経営体の動向 (全国)

	計				65歳未満女性農業専従者がいる			
	2015年 (経営体)	2020年 (経営体)	増減数 (経営体)	増減率 (%)	2015年 (経営体)	2020年 (経営体)	増減数 (経営体)	増減率 (%)
個人経営体	1,339,964	1,037,342	△ 302,622	△ 22.6	204,204	136,241	△ 67,963	△ 33.3
女性の経営参画者がいる (延べ)	639,884	377,729	△ 262,155	△ 41.0	151,950	85,650	△ 66,300	△ 43.6
女性の経営主がいる	91,402	61,283	△ 30,119	△ 33.0	13,729	9,371	△ 4,358	△ 31.7
女性の方針決定参画者がいる	548,482	316,446	△ 232,036	△ 42.3	138,221	76,279	△ 61,942	△ 44.8
女性の経営参画者がいる農業経営体割合・ポイント差	47.8%	36.4%	△ 11.3P		74.4%	62.9%	△ 11.5P	

資料：農林業センサス個票 (2015年, 2020年) の組替集計により作成。

(2) 経営体レベルでの分析 (つづき)

- 販売額1位部門別に女性の経営参画者がいる経営体の動向を見ると、**女性の経営参画者がいる経営体割合**は、全ての経営部門で低下しており、中でも**工芸農作物**（47%減）と**水稲・陸稲**（37%減）での減少率が高い

⇒ 両経営部門は、65歳未満の女性農業専従者がいる経営体割合も低い部門であり、女性の担い手が少ない経営部門を中心に女性の経営参画者が減少している

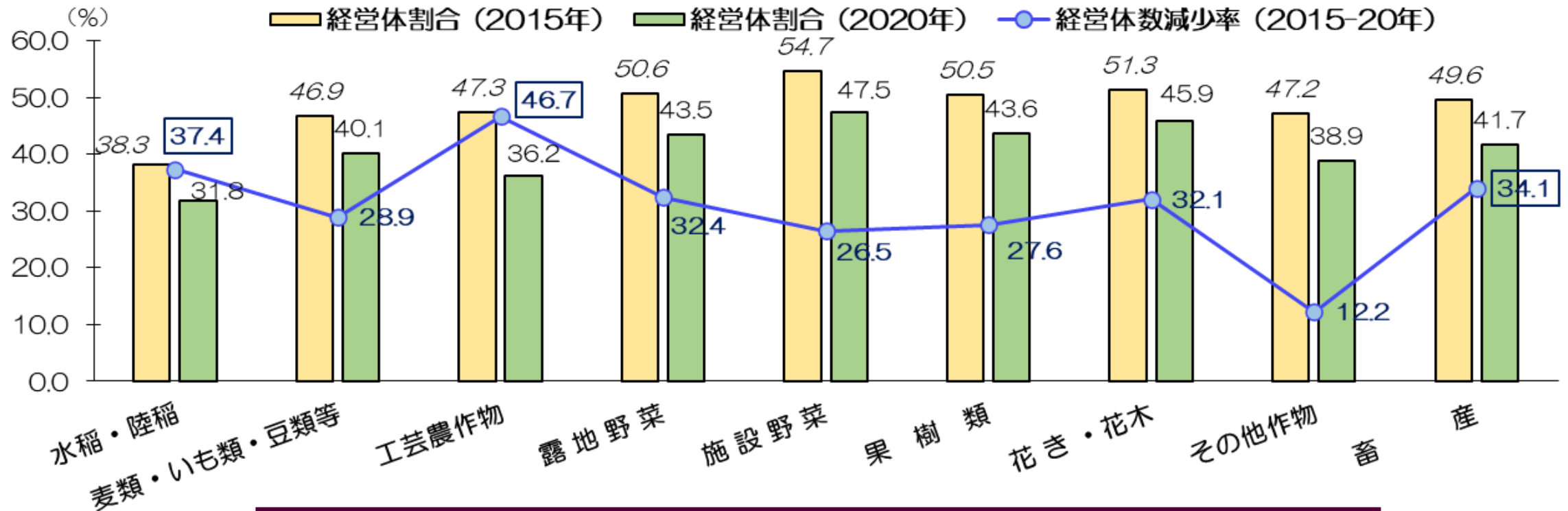


図5 販売額1位部門別の女性経営参画者がいる経営体の動向 (全国)

(2) 経営体レベルでの分析 (つづき)

- 女性の方針決定参画者がいる経営体数の減少率は、沖縄、鹿児島、福井、石川、徳島、大分、岐阜、富山などで高く、このうち福井、富山、岐阜、石川などでは女性世帯員数の減少率も高い

⇒ 都道府県全体では両者の間に明確な相関関係は見られないが、一部の県においては**方針決定参画者がいる経営体数減少**の背景に**女性世帯員数減少**の影響がうかがえる

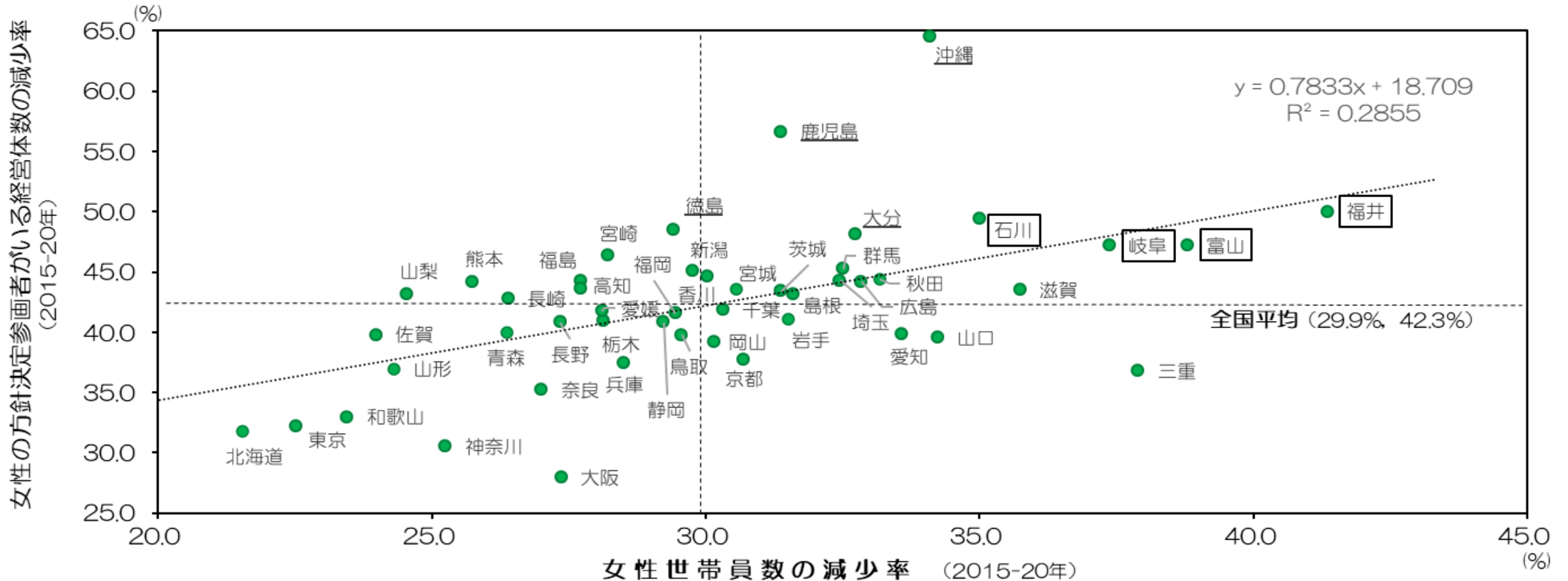


図6 女性の方針決定参画者がいる経営体数減少率と女性世帯員数減少率との関係

4. 女性の経営参画動向別に見た経営体の特徴

(1) 経営参画動向による経営体の類型化

- 2015年と2020年のセンサス個票を接続し、女性の経営参画動向によって農業経営体を**継続**、**中止**、**開始**、**非参画**の4タイプに類型化
 「**経営参画類型**」
 (ID非接続の経営体を除く)

〔2020年の個人経営体（1,037,342経営体：100.0%）〕

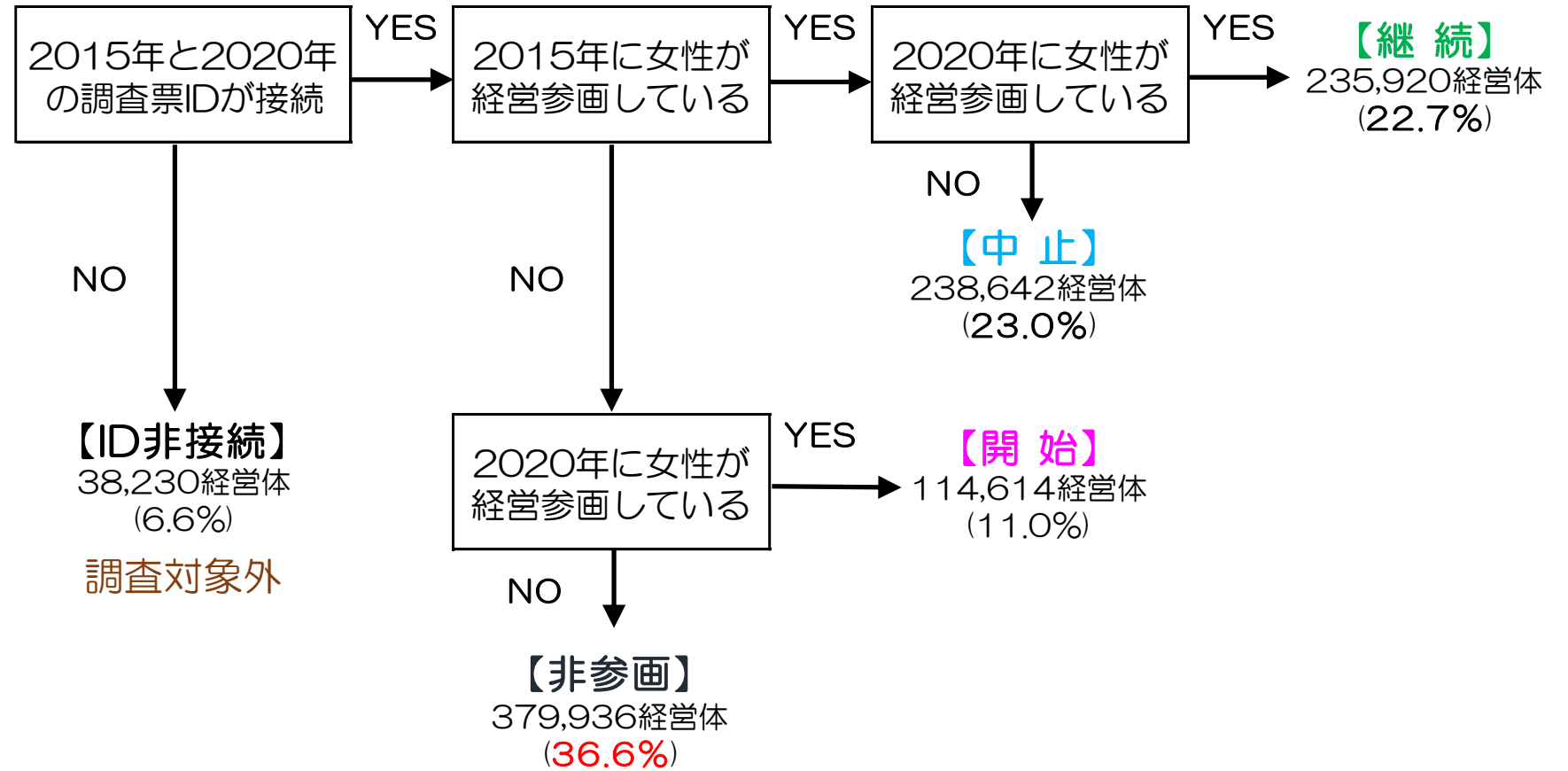


図7 女性の経営参画動向による農業経営体の類型化

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。

(2) 経営参画類型別の経営体の特徴

1) 「継続」と「非参画」経営体の比較

- 1経営体当たり平均経営耕地面積は**継続**で**3.2ha**と、**非参画**の**1.8ha**に比べ大きい
- 1経営体当たり平均農産物販売金額は**継続**が**706万円**、**非参画**が**322万円**であり、**継続**が**非参画**の2倍以上
- 農業生産関連事業への取組割合は**継続**で**27%**と高く、**非参画**の**17%**を10ポイント上回る
- 1経営体当たりの女性世帯員数や農業労働力は**継続**経営体の方が多く、女性の農業従事者割合や専従者割合も20～30ポイント高い

表9 経営参画類型による「継続」と「非参画」経営体の比較

	継 続	非参画
1 経営体当たり平均経営耕地面積 [2020年] (ha)	3.2	1.8
// 増減率 [15-20年] (%)	2.1%	△0.2%
1 経営体当たり平均農産物販売金額 [2020年] (万円)	706	322
// 増減率 [15-20年] (%)	14.9%	14.4%
農業生産関連事業の実施経営体割合 [2020年] (%)	27.1%	17.1%
// 増減ポイント数 [15-20年]	1.2	0.7
1 経営体当たり平均女性世帯員数 [2020年] (人)	1.93	1.43
// 増減率 [15-20年] (%)	△9.0%	△15.4%
1 経営体当たり平均女性農業従事者数 [2020年] (人)	1.42	0.80
// 増減率 [15-20年] (%)	△3.6%	△14.0%
女性の世帯員に占める農業従事者割合 [2020年] (%)	86.2%	64.4%
1 経営体当たり平均女性農業専従者数 [2020年] (人)	0.68	0.17
// 増減率 [15-20年] (%)	△31.9%	△59.9%
女性の農業従事者に占める専従者割合 [2020年] (%)	51.5%	22.0%
65歳未満女性専従者がいる経営体割合 [2020年] (%)	25.1%	4.9%
農業経営を引き継ぐ後継者がいる経営体割合 [2020年] (%)	28.8%	20.7%

資料：農林業センサス個票（2015年、2020年）の組替集計により作成。

1) 「継続」と「非参画」経営体の比較 (つづき)

- 経営耕地面積規模別の経営体数割合を比較すると、**継続**、**非参画**ともに1ha未満の小規模経営体の割合が最も高いが、**非参画** (58%) の方が10ポイント程度高い、逆に、5ha以上規模の合計経営体割合は**継続**が**12%**なのに対し、**非参画**は**6%**と低い
- **農産物販売金額規模別**でも**継続**の方が販売額の大きな経営体の割合が高く、**非参画**は販売額の小さな経営体の割合が高い

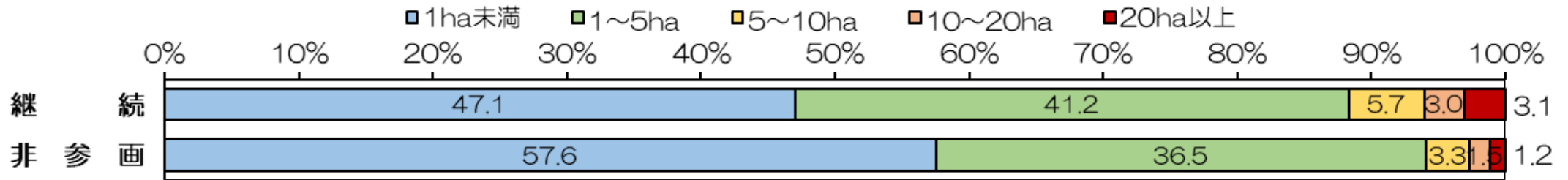


図8 経営耕地面積規模別の経営体数割合 (2020年：継続及び非参画)

資料：農林業センサス個票 (2015年, 2020年) の組替集計により作成.

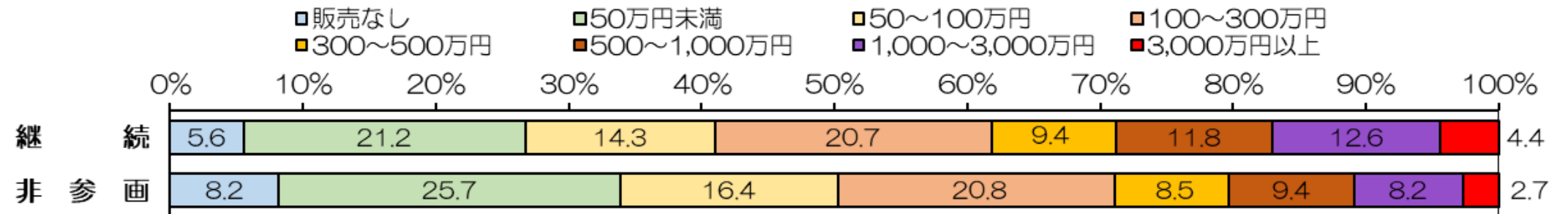


図9 農産物販売金額規模別の経営体数割合 (2020年：継続及び非参画)

資料：農林業センサス個票 (2015年, 2020年) の組替集計により作成.

1) 「継続」と「非参画」経営体の比較 (つづき)

- 販売額1位部門別の経営体数割合を比較すると、**継続**、**非参画**の経営体ともに水稻・陸稲の占める割合が最も高いが、2020年の**非参画**はその割合が**66%**と3分の2を占めているのに対し、**継続**では**45%**にとどまっている
- この他、2020年の**継続**では、**野菜と果樹類**の経営体がそれぞれ**22%**、**17%**を占める
- 5年間の女性農業従事者数の増減率を年齢別に見ると、**継続**では64歳以下の全ての年齢層で**非参画**に比べ従事者数の減少率が低く、65歳以上層での増加率が高い

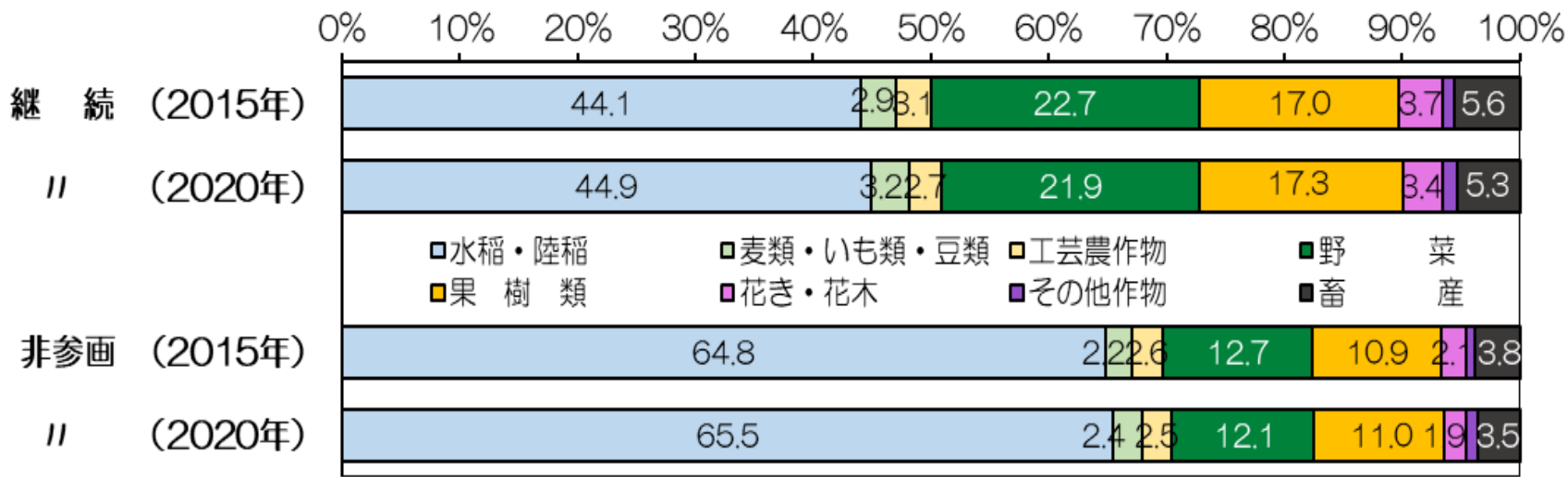


図10 販売額1位部門別の経営体数割合 (2015年, 20年: 継続及び非参画)

表10 年齢別の女性農業従事者数増減率 (2015-20年: 継続及び非参画)

	(単位: %)	
	継続	非参画
計	△ 2.5	△ 13.8
15~29歳	△ 39.6	△ 41.0
30~49歳	△ 22.4	△ 30.0
50~64歳	△ 24.1	△ 29.9
65~74歳	28.1	12.9
75歳以上	34.3	3.7

資料: 農林業センサス個票 (2015年, 2020年) の組替集計により作成.

資料: 農林業センサス個票 (2015年, 2020年) の組替集計により作成.

2) 「開始」と「継続」経営体の比較

- 2020年のデータで**開始**と**継続**の経営体を比較すると、1経営体当たり平均経営耕地面積は**開始**で**2.5ha**と**継続**の**3.2ha**に比べ小さい
- **開始**の1経営体当たり平均農産物販売金額は**486万円**であり**継続**より**220万円少ない**が**増加率は17%**と高い（**継続**は15%増）
- **開始**での農業生産関連事業への取組割合（**23%**）は**継続**の経営体に比べ5ポイント以上低いが、**増減ポイント数（3.2P）**では**2ポイント大きい**
- **開始**での女性農業専従者割合は**継続**に比べ**13ポイント低い38%**、**65歳未満女性農業専従者がいる経営体割合も9ポイント低い16%**

表11 経営参画類型による「開始」と「継続」経営体の比較

	開 始	継 続
1 経営体当たり平均経営耕地面積 [2020年] (ha)	2.5	3.2
// 増減率 [15-20年] (%)	2.7%	2.1%
1 経営体当たり平均農産物販売金額 [2020年] (万円)	486	706
// 増減率 [15-20年] (%)	17.3%	14.9%
農業生産関連事業の実施経営体割合 [2020年] (%)	22.6%	27.1%
// 増減ポイント数 [15-20年]	3.2	1.2
1 経営体当たり平均女性世帯員数 [2020年] (人)	1.88	1.93
// 増減率 [15-20年] (%)	△6.5%	△9.0%
1 経営体当たり平均女性農業従事者数 [2020年] (人)	1.32	1.42
// 増減率 [15-20年] (%)	3.3%	△3.6%
女性の世帯員に占める農業従事者割合 [2020年] (%)	83.2%	86.2%
1 経営体当たり平均女性農業専従者数 [2020年] (人)	0.48	0.68
// 増減率 [15-20年] (%)	△35.8%	△31.9%
女性の農業従事者に占める専従者割合 [2020年] (%)	38.2%	51.5%
65歳未満女性専従者がいる経営体割合 [2020年] (%)	16.0%	25.1%
農業経営を引き継ぐ後継者がいる経営体割合 [2020年] (%)	26.9%	28.8%

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。

2) 「開始」と「継続」経営体の比較 (つづき)

- 経営耕地面積規模別の経営体数割合は、**開始**、**継続**の経営体ともに1ha未満層が最も高く、**開始**では5割を超えている（5ha以上規模層の経営体割合は**継続**に比べ低い）
- 販売金額が大きな経営体も**継続**の方が多く、**開始**は50万円未満（販売なしを含む）の経営体が4割を超える

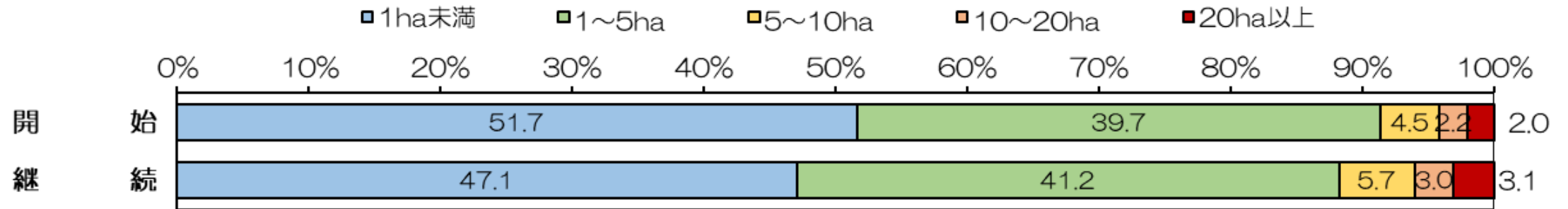


図11 経営耕地面積規模別の経営体数割合（2020年：開始及び継続）

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。

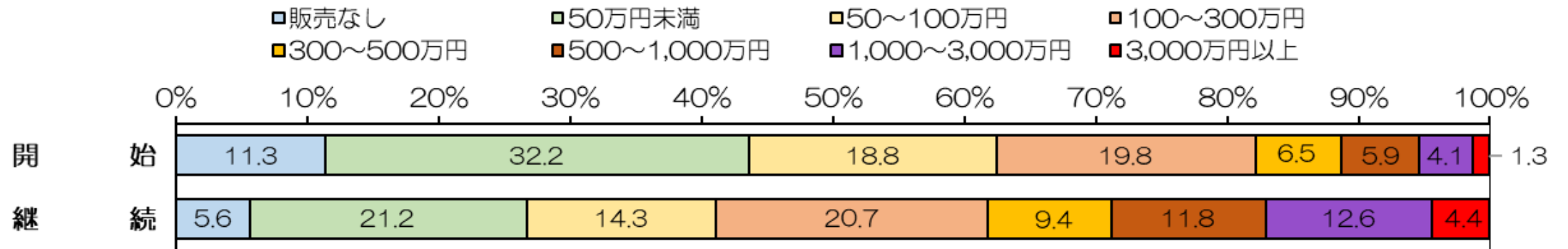


図12 農産物販売金額規模別の経営体数割合（2020年：開始及び継続）

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。

2) 「開始」と「継続」経営体の比較 (つづき)

- 販売額1位部門別の経営体数割合は、**開始**、**継続**ともに水稻・陸稻の占める割合が最も高いが、2020年の**開始**の割合（**57%**）は**継続**（**45%**）に比べ12ポイント高い
- 開始**、**継続**の経営体ともに、2015年と2020年の販売額1位部門別の経営体数割合（経営体数の構成）に大きな変化はない

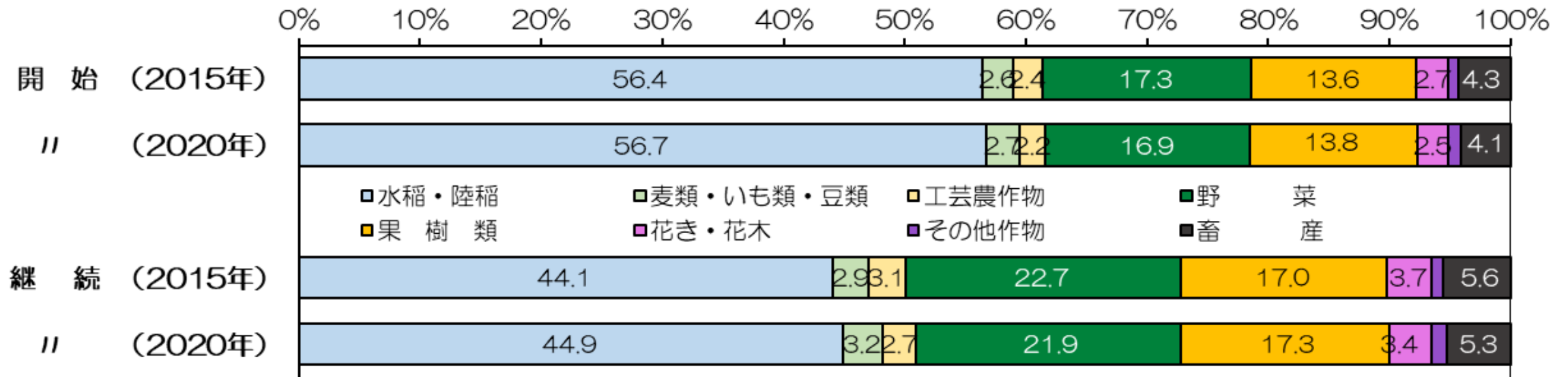


図13 販売額1位部門別の経営体数割合（2015年、20年：開始及び継続）

資料：農林業センサス個票（2015年、2020年）の組替集計により作成。

3) 「中止」と「継続」経営体の比較

- **中止**の経営体の1経営体当たり平均経営耕地面積はで**2.5ha**であり，**継続**の**3.2ha**に比べ小さい
- 1経営体当たり平均農産物販売金額は**中止**で**581万円**と**継続**より100万円以上少ない
- **農業生産関連事業への取組割合も中止**では**20%**であり，**継続**より7ポイント低い
- 1経営体当たりの平均女性世帯員数，女性農業従事者数，女性農業専従者数のいずれも**中止**の経営体で少ない
- **世帯員や各種農業労働力の女性割合，65歳未満の女性専従者がいる経営体割合も中止**の方が低い

表12 経営参画類型による「中止」と「継続」経営体の比較

	中 止	継 続
1 経営体当たり平均経営耕地面積 [2020年] (ha)	2.5	3.2
// 増減率 [15-20年] (%)	0.0%	2.1%
1 経営体当たり平均農産物販売金額 [2020年] (万円)	581	706
// 増減率 [15-20年] (%)	13.9%	14.9%
農業生産関連事業の実施経営体割合 [2020年] (%)	20.1%	27.1%
// 増減ポイント数 [15-20年]	△ 0.6	1.2
1 経営体当たり平均女性世帯員数 [2020年] (人)	1.70	1.93
// 増減率 [15-20年] (%)	△15.0%	△9.0%
1 経営体当たり平均女性農業従事者数 [2020年] (人)	1.12	1.42
// 増減率 [15-20年] (%)	△16.9%	△3.6%
女性の世帯員に占める農業従事者割合 [2020年] (%)	77.0%	86.2%
1 経営体当たり平均女性農業専従者数 [2020年] (人)	0.40	0.68
// 増減率 [15-20年] (%)	△51.6%	△31.9%
女性の農業従事者に占める専従者割合 [2020年] (%)	37.1%	51.5%
65歳未満女性専従者がいる経営体割合 [2020年] (%)	12.8%	25.1%
農業経営を引き継ぐ後継者がいる経営体割合 [2020年] (%)	24.0%	28.8%

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。

3) 「中止」と「継続」経営体の比較 (つづき)

- **中止**の経営体の経営規模（面積，販売額）は，**継続**に比べ小規模
- 特に農産物販売金額での差が大きく，500万円以上の合計経営体数割合は継続で29%なのに対し，**中止**では20%と低い（**中止**は販売なしを含め35%が50万円未満）

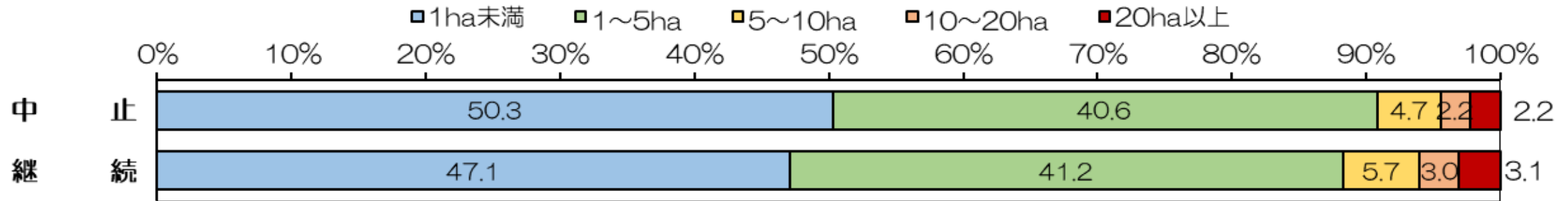


図14 経営耕地面積規模別の経営体数割合（2020年：中止及び継続）

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。

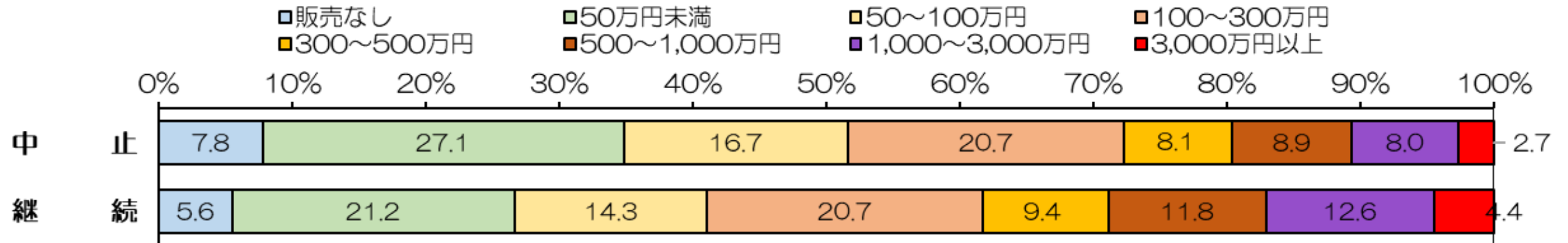


図15 農産物販売金額規模別の経営体数割合（2020年：中止及び継続）

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。

3) 「中止」と「継続」経営体の比較 (つづき)

- **中止**の経営体における2020年の販売額1位部門は水稻・陸稻が55%と過半を占め、継続の経営体に比べ10ポイント高い
- この5年間の女性農業従事者数の増減率を年齢別に見ると、**中止**の経営体では**64歳以下の全ての年齢層**で減少率が高く、特に**30～49歳層 (68%減)**は**継続 (22%減)**と**45ポイントもの大きな差**

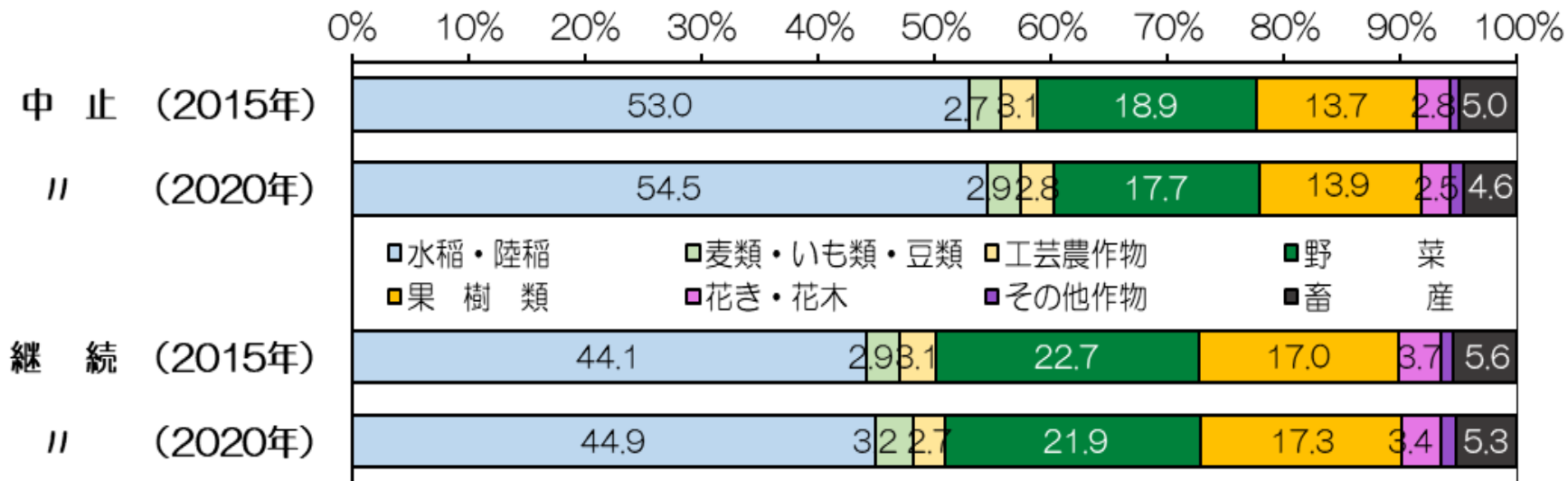


図16 販売額1位部門別の経営体数割合 (2015年, 20年:中止及び継続)

資料：農林業センサス個票 (2015年, 2020年) の組替集計により作成。

表13 年齢別の女性農業従事者数増減率 (2015-20年:中止及び継続)

	中止	継続
計	△ 23.2	△ 2.5
15～29歳	△ 48.3	△ 39.6
30～49歳	△ 68.1	△ 22.4
50～64歳	△ 34.5	△ 24.1
65～74歳	6.2	28.1
75歳以上	4.1	34.3

資料：農林業センサス個票 (2015年, 2020年) の組替集計により作成。

(3) 「継続」経営体と「非参画」経営体の経営展開の比較

- 1経営体当たり平均経営耕地面積が**継続**では3.1haから**3.2ha**に増加，**非参画**では**1.8ha**と変化がない
- 1経営体当たり平均農産物販売金額は，**継続**が614万円から**706万円**に，**非参画**は282万円から**322万円**にそれぞれ増加
- 農業生産関連事業への取組割合は，**継続**で1.2ポイント上昇し**27%**に，**非参画**では**17%**と0.7ポイントの上昇にとどまる
- 主な農産物出荷先は，**継続**，**非参画**とも農協と卸売業者の割合が低下し，農協以外の集出荷団体の割合が上昇，**継続**では直接販売1つ以上の割合が上昇（**非参画**では低下）
- 農業労働力は**継続**，**非参画**ともに減少しているが，世帯員に占める女性割合は**継続**で上昇し，**非参画**で低下

表14 「継続」と「非参画」経営体の経営展開の比較

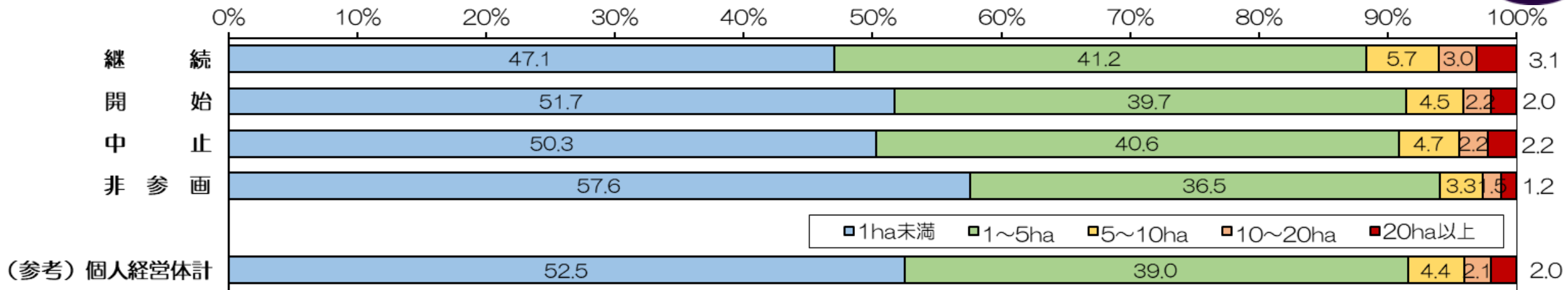
		継 続		非 参 画	
		2015年	2020年	2015年	2020年
1経営体当たり経営耕地面積 (ha)		3.1	3.2	1.8	1.8
1経営体当たり農産物販売額 (万円)		614	706	282	322
出荷先1位の作物目割合 (%)	水 稻	42.3	42.4	59.4	58.1
	野 菜	21.8	20.7	11.7	10.7
	果 樹 類	16.4	5.0	10.0	3.1
	花き・花木	3.6	3.2	1.9	1.7
	畜 産	5.3	1.2	3.5	0.9
農業生産関連事業への取組割合 (%)		25.9	27.1	16.4	17.1
農 産 物 出 荷 先 [MA] (%)	農 協	72.6	70.0	66.4	63.0
	農協以外の集出荷団体	13.6	15.0	11.3	12.0
	卸売業者	14.7	14.0	8.3	8.0
	直接販売1つ以上	24.6	24.8	15.6	15.3
1経営体当たり女性世帯員数 (人)		2.12	1.93	1.69	1.43
1経営体当たり女性農業従事者数 (人)		1.47	1.42	0.93	0.80
1経営体当たり女性農業専従者数 (人)		1.00	0.68	0.42	0.17
世帯員に占める女性割合 (%)		54.9	55.5	44.3	41.2
女性世帯員に占める農業従事者割合 (%)		81.9	86.2	63.8	64.4
女性農業従事者に占める専従者割合 (%)		72.8	51.5	45.6	22.0
65歳未満女性農業専従者がいる経営体割合 (%)		34.1	25.1	7.1	4.9
農業経営の後継者がいる経営体割合 (%)			28.8		20.7

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。

参考表 経営参画類型別の各経営体の経営展開の比較

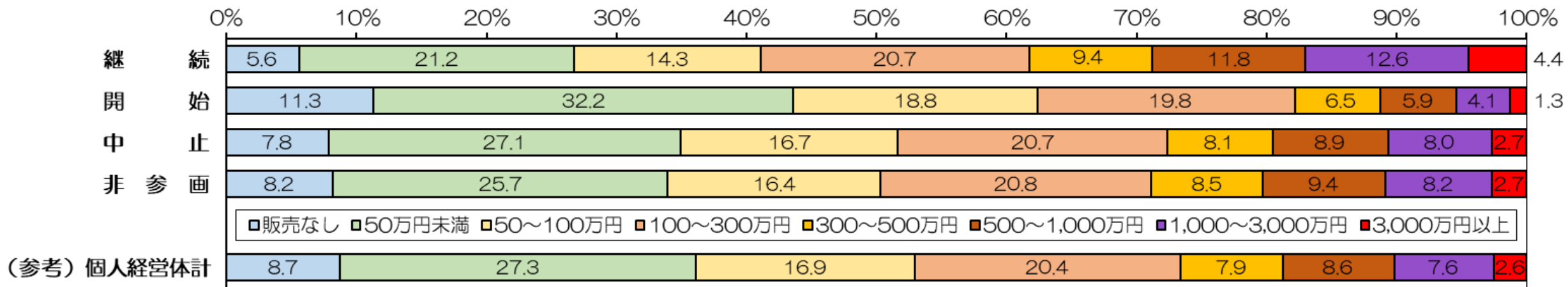
		継 続			開 始			中 止			非 参 画		
		2015年	2020年	増減率・増減ポイント	2015年	2020年	増減率・増減ポイント	2015年	2020年	増減率・増減ポイント	2015年	2020年	増減率・増減ポイント
1経営体当たり経営耕地面積 (ha)		3.1	3.2	2.1	2.4	2.5	2.7	2.5	2.5	0.0	1.8	1.8	△ 0.2
1経営体当たり農産物販売額 (万円)		614	706	14.9	414	486	17.3	510	581	13.9	282	322	14.4
出荷先1位の 作目割合 (%)	水 稻	42.3	42.4	0.1	52.8	52.3	△ 0.5	50.3	50.0	△ 0.3	59.4	58.1	△ 1.4
	野 菜	21.8	20.7	△ 1.1	16.2	15.6	△ 0.6	18.0	16.3	△ 1.7	11.7	10.7	△ 1.0
	果 樹 類	16.4	5.0	△ 11.4	12.7	3.7	△ 9.0	13.0	4.2	△ 8.8	10.0	3.1	△ 6.9
	花き・花木	3.6	3.2	△ 0.3	2.5	2.3	△ 0.2	2.7	2.3	△ 0.4	1.9	1.7	△ 0.2
	畜 産	5.3	1.2	△ 4.2	4.0	1.0	△ 3.0	4.7	1.1	△ 3.7	3.5	0.9	△ 2.6
農業生産関連事業への取組割合 (%)		25.9	27.1	1.2	19.4	22.6	3.2	20.7	20.1	△ 0.6	16.4	17.1	0.7
農産物出荷先 [MA] (%)	農 協	72.6	70.0	△ 2.6	69.4	67.0	△ 2.4	70.4	67.0	△ 3.4	66.4	63.0	△ 3.4
	農協以外の集出荷団体	13.6	15.0	1.4	11.9	13.0	1.1	13.0	13.0	0.0	11.3	12.0	0.7
	卸売業者	14.7	14.0	△ 0.7	10.9	11.0	0.1	11.9	11.0	△ 0.9	8.3	8.0	△ 0.3
	直接販売1つ以上	24.6	24.8	0.3	18.3	20.2	2.0	19.5	18.1	△ 1.5	15.6	15.3	△ 0.4
1経営体当たり女性世帯員数 (人)		2.12	1.93	△ 9.0	2.01	1.88	△ 6.5	2.00	1.70	△ 15.0	1.69	1.43	△ 15.4
1経営体当たり女性農業従事者数 (人)		1.47	1.42	△ 3.6	1.28	1.32	3.3	1.35	1.12	△ 16.9	0.93	0.80	△ 14.0
1経営体当たり女性農業専従者数 (人)		1.00	0.68	△ 31.9	0.75	0.48	△ 35.8	0.83	0.40	△ 51.6	0.42	0.17	△ 59.9
世帯員に占める女性割合 (%)		54.9	55.5	0.6	50.0	52.1	2.0	50.9	47.8	△ 3.1	44.3	41.2	△ 3.0
女性世帯員に占める農業従事者割合 (%)		81.9	86.2	4.3	75.5	83.2	7.8	80.3	77.0	△ 3.2	63.8	64.4	0.6
女性農業従事者に占める専従者割合 (%)		72.8	51.5	△ 21.3	59.9	38.2	△ 21.7	64.8	37.1	△ 27.7	45.6	22.0	△ 23.6
65歳未満女性農業専従者がいる経営体割合 (%)		34.1	25.1	△ 9.0	18.5	16.0	△ 2.5	21.3	12.8	△ 8.5	7.1	4.9	△ 2.2
農業経営の後継者がいる経営体割合 (%)			28.8			26.9			24.0			20.7	

資料：農林業センサス個票（2015年、2020年）の組替集計により作成。



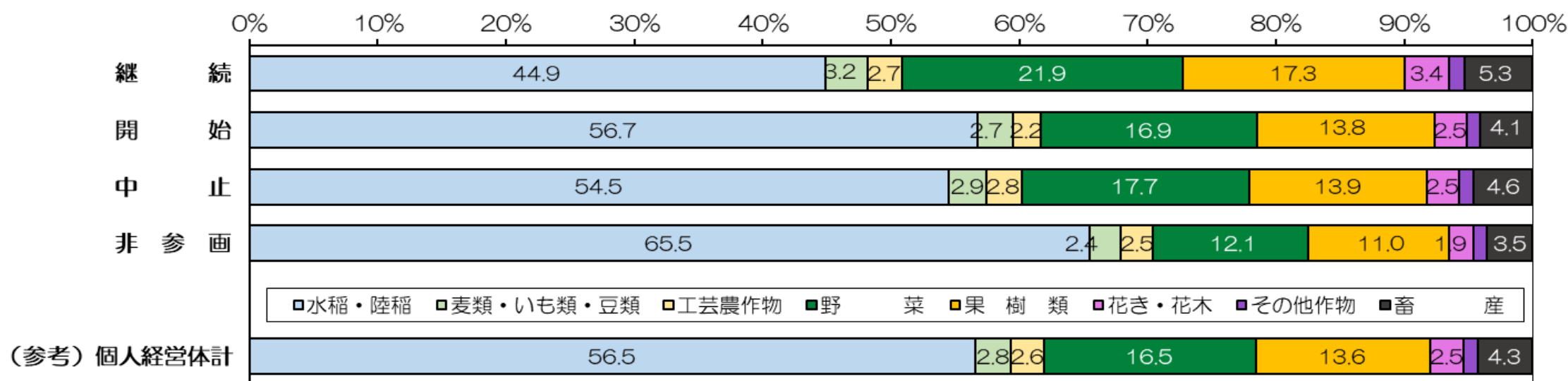
参考図1 経営耕地面積規模別の経営体数割合（2020年：経営参画類型別）

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。



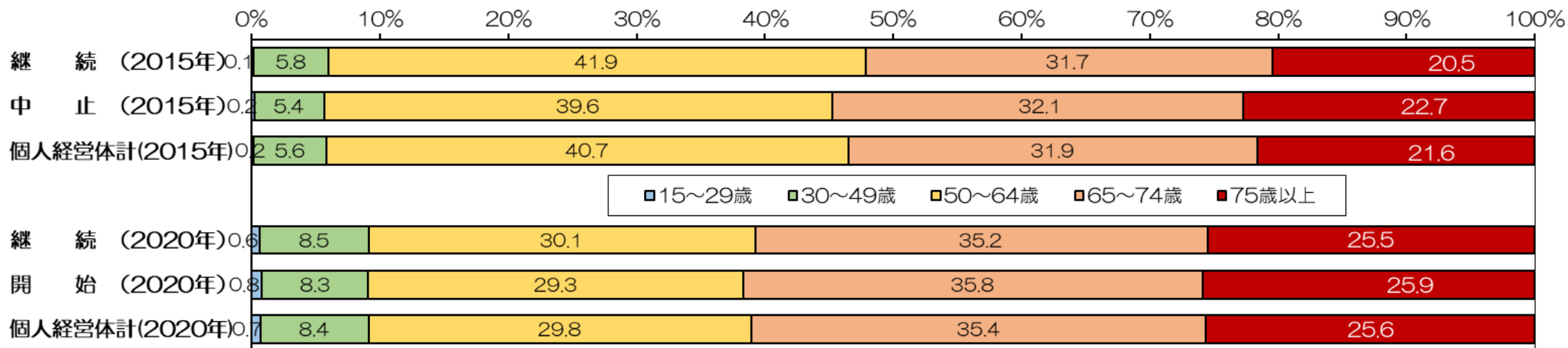
参考図2 農産物販売金額規模別の経営体数割合（2020年：経営参画類型別）

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。



参考図3 販売額1位部門別の経営体数割合（2020年：経営参画類型別）

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。



参考図4 女性経営参画者の年齢別構成割合（経営参画類型別）

資料：農林業センサス個票（2015年，2020年）の組替集計により作成。

(1) 分析結果の要約

◇ 女性の農業労働力・経営参画者の動向分析から

- ① 家族経営では**女性農業労働力**の減少が続いており、今回センサスでは**女性世帯員数の減少も加速**、この背景には、労働力のボリューム層であった**昭和10年代生まれ（75～84歳層）**の加齢に伴う**離農の本格化が強く影響**
- ② **女性農業労働力**の減少傾向は、農業従事日数や経営部門による差が大きく、女性の**農業専従者割合が比較的高い果樹や野菜等の労働集約型部門では比較的小さく**、稲作（稲作を中心とする複合経営を含む）や畜産部門で大きい傾向がうかがえた
- ③ **女性の経営参画者**は5年前から大幅に減少、このうち、**女性の方針決定参画者**は全ての年齢層で減少（若い世代は従事日数の少ない層で、高齢世代は従事日数の多い層で大きく減少）したのに対し、**女性経営主**は若い世代では比較的に維持されており、中間層（従事日数区分で中間に位置する規模層）での減少傾向が強かった

(1) 分析結果の要約 (つづき)

◇ 女性の経営参画動向による類型化を通じた分析から

(農業経営体を**継続**、**開始**、**中止**、**非参画**の4つに類型化し、比較分析)

- ① 女性が経営参画を**継続**している経営体や新たに経営参画を**開始**した経営体は、**非参画**の経営体に比べ農業経営規模が大きく、経営多角化の取組が進展、世帯規模も比較的大きく、女性世帯員割合や女性経営参画者割合、さらには農業経営の後継者がいる経営体割合も高い傾向が見られた
- ② **開始**の経営体は、**継続**の経営体に比べ、この5年間に女性の世帯員数や農業従事者数が比較的維持されている傾向がうかがえた
- ③ 女性が経営参画を**中止**した経営体は、対照的に農業経営規模が小さく、経営多角化も不活発であり、この5年間に女性の世帯員数や農業労働力が大きく減少し、農業労働力に占める女性割合や女性の農業従事度も低い傾向が確認された

(1) 分析結果の要約 (つづき)

◇ 以上の分析結果から、

✓ **家族経営における女性の農業参加**は、この5年間で全体としては労働力、経営参画の双方において大きく後退

✓ **女性の経営参画者の減少**は、家族経営体における女性の世帯員や農業労働力の減少、女性の農業従事度の低下が主な要因

⇒ これら要因は年齢によって異なり、

若い世代では、女性世帯員の農業離れ

高齢世代では、女性世帯員数の減少や農業従事度の低下

✓ **女性の経営参画動向の違い**によって農業経営体の展開に明確な差

⇒ **経営参画類型**の比較から経営体の発展状況を見ると、

水準面では、継続 > 開始 > 中止 > 非参画

動向面では、開始 > 継続 > 非参画 > 中止 の序列が確認できる

(2) 今後の分析課題

- 女性世帯員の減少要因に関する分析
 - 後継者世代における女性の農業参加の多様な実態を把握するためには、国勢調査等を用いた家族労働力の把握や女性人口の減少要因の分析が必要
- 農業に従事していない経営参画者（方針決定参画者）の評価
 - 農業センサスからは、方針決定参画者の質的な違いについては把握できないため、今後、女性の新たな経営参画者像を模索するためにも、現地調査等による実態把握が必要

====ご静聴ありがとうございました====

